

教員の抜本的増員で少人数学級実現を

一府教委 2021年度公立学校教員採用選考テストの選考結果を公表一

府教委は10月23日、大阪府公立学校教員採用選考テストの合格発表を行うとともに、第三次（最終）選考結果を発表しました。結果は以下の通りです。詳細は大阪府の職員採用情報「公立学校教員採用」のページで見ることができます。

大阪府公立学校教員採用選考テスト選考結果(2018～2021)

※最終倍率は受験者数に対する倍率

	2019年度		2020年度		2021年度	
	全体	高等学校	全体	高等学校	全体	高等学校
採用予定数(人)	1415	200	1,315	200	1,395	210
志願者数(人)	8,490	2,330	7,649	2,037	7,284	1,974
倍率(倍)	6.0	11.7	5.8	10.2	512	9.4
第一次選考受験者数(人)	6,707	1,869	6,214	1,593	5,950	1,588
第一次選考合格者数(人)	4,453	938	4,119	839	4,076	880
合格率(%)	66.4%	50.2%	66.3%	52.7%	55.4%	68.5%
第二次選考受験者数(人)	4,572	1,020	4,344	954	4,182	945
第二次選考合格者数(人)	2,820	479	2,724	448	2,997	517
合格率(%)	61.7%	47.0%	62.7%	47.0%	71.7%	54.7%
第三次選考受験者数(人)	3,005	463	2,760	433	3,011	493
第三次選考合格者数(人)	1,316	204	1,189	194	1,268	205
最終倍率(倍)	5.6	9.8	5.7	8.9	5.0	8.2

少人数学級実現のために、教職員の抜本的な増員を！

臨時休業を経て、感染症状対策、ゆきとどいた教育のために「少人数学級」の実現が求められています。教職員組合、全国PTAだけでなく全国知事会や校長会なども国に対し要請を行うなかで、文科省は「公立小中学校の全学年で30人学級を導入した場合、教員を8万～9万人増やす必要がある」と試算、今後10年ほどかけて段階的に移行することも視野に、21年度予算の概算要求に金額を明示しない「事項要求」を行っています。

「先生らしく働きたい」教職を持続可能なものに

教職員の長時間過密労働は深刻で、出退勤カードで記録される府立高校の超勤時間は、年間平均400時間程度で高止まりが続いています。今年度コロナ禍での対応の中で健康被害の報告・相談が学校現場から多く寄せられています。教職を志す学生や教採受験者にとって、教職をより魅力あるものにしなければなりません。より人間らしく働きがいのある仕事にしていかなければなりません。

府高教は、「いい教育がしたい」＝教育条件の改善や職場をこえた実践交流で、子どもたちがのびのび学べる学校に、「安心して働きたい」＝賃金・権利の保障、パワハラのない働きやすい職場へのとりくみをすすめ、みんなで要求を実現する教職員組合（労働組合）です。

みなさんが、ぜひこの機会に府高教に加入されることを呼びかけます。加入登録→

